

平成10年7月22日

道ゆく人々にうるおいとやすらぎを…

「第1回豊島区花とみどりのコンクール」入賞者決定!

豊島区では、緑化推進のための新事業として「第1回花とみどりのコンクール」を今年度より開催、本日22日、その第1回入賞作品として「生け垣部門」「草花部門」のそれぞれ各3点、計6名の入賞者の方々に、加藤一敏豊島区長より表彰状と記念品が贈呈された。

急激な都市化により自然環境が駆逐され、また大規模な公園等のない豊島区の緑被率は市内23区の中でも極めて低い。こうした状況の中で、うるおいのある街づくりのための緑の保全・創出を目指して、区では平成4年「豊島区みどりと広場の基本計画」を策定し、さまざまな緑化推進事業を進めてきている。

今回のコンクールは、道ゆく人々の目を楽しませ、街並みにうるおいを与えてくれる道路に面した庭先の花や緑を対象に行われたもので、区民の方々の創意工夫を拾い上げるとともに、緑化意識の高揚を図ろうと今年度より企画された新事業。

4月から6月にかけて募集したところ、自薦・他薦を含め、「生け垣部門」10点、「草花部門」24点の計34作品が応募され、審査の結果、以下の6名の方々が入賞された。

「生け垣部門」

牛田 修司さん（長崎6丁目）、狩野 和男さん（千早2丁目）、
倉川 康さん（長崎6丁目）

「草花部門」

田中 義夫さん（池袋3丁目）、村松 孝子さん（南大塚2丁目）、
水沢 秀雄さん（目白2丁目）

手入れの行き届いた緑美しい生け垣、また壁やベランダ、窓辺のわずかなスペースを上手に工夫して、色鮮やかな季節の草花で飾った作品など、入賞作品はいずれも緑を愛する人の気持が込められたもの。推薦者からも、「毎日通るたびに、いいなあ…と心がなごみます」との言葉が贈られた。

今回のコンクールに対し、入賞者の一人からは、「緑が少なく、また財政難の区にあって、コストをあまりかけずに大きな効果をあげられるとてもいい企画」との感想が述べられ、区長も「今後とも、街にうるおいを与えてくれるよう、緑を大切に育てていって下さい」とお祝いの言葉を締めくくった。

詳細・公園緑地課